

- 皆さん、おはようございます。  
2学期が始まるに当たり一つだけ話をします。
  
- 皆さん、GRIT ということばを知っていますか。
- 3年生は、3年生の先生方が作成した動画を観ているので知っていると思います。
- GRIT とは「やり抜く力」のことです。
- これは、今、アメリカで何人かの学者たちが唱えている考えです。
- 彼らは、勉強や仕事で成功を収めている人たちを様々な角度から調査しました。そして、成功を収めている人たちに共通しているのは、その本人の IQ や能力よりもやり抜く力が大切だと分かったのです。
- GRIT の  
G は Guts です。度胸・勇気のことです。どんな困難にも立ち向かう度胸・勇気です。  
R は Resilience です。復元力のことです。失敗しても諦めずに続ける復元力です。  
I は Initiative です。率先・独創性のことです。何事も率先してやることです。  
T は Tenacity です。執念・粘り強さのことです。最後までやり遂げる執念・粘り強さのことです。
- Guts, Resilience, Initiative, Tenacity の4つの単語の頭文字をとって GRIT グリット、と名付けられました。
  
- このやり抜く力ですが、私自身に当てはめてみた場合、特別に英語の才能があったわけでもないし、教員としての特別な力量があったわけでもありませんが、定年をあと1年残す現在まで教員を続けることができたのは、私自身にこの「やり抜く力 GRIT」が少しは備わっていたからでは、と感じています。
- ちょっとは度胸があり、失敗しても諦めない復元力があり、率先して何かに取り組み、最後までやり遂げる粘り強さがやり抜く力となり、ここまで来ることができたのかな、と感じています。
  
- 東高に入学してくる皆さんですので、もちろん才能豊かであると思います。しかし、その才能を花開かせるためには、「やり抜く力 GRIT」を持つことが大切だと思います。
- 是非、度胸を持ち、復元力を持ち、率先して始める自発性を持ち、執念を持ち何事もやり抜いてください。
  
- この2学期が皆さんにとって充実したものになることを願って校長の話としますが、日常生活におけるマスク着用、3密を避けることに注意した学校生活を送ることを忘れないでください。
- 最後に、In the middle of difficulty lies opportunity. 「困難な局面にこそチャンスあり」です。心してください。
- 以上で校長の話を終わります。